

令和5年（2023年）5月教育委員会定例会会議録

日 時 令和5年（2023年）5月30日（火）午前9時30分～午前10時19分

会 場 柏崎市立博物館1階小ホール

出席者 教育長 近藤喜祐
委員（教育長職務代理者） 米谷杉子
委員 梅田広美
委員 飯塚政雄

欠席者 委員 阿部健志

説明のため出席した職員

教育部長 宮崎靖彦
教育総務課長 田辺文敏
学校教育課長 兼
教育センター所長 矢沢欣也
文化・生涯学習課長 窪田守
スポーツ振興課長 兼
水球のまち推進室長 藤巻久之
図書館長 鈴木豊彦
博物館長 西巻隆博

説明及び職務のため出席した事務局職員

教育総務課課長代理 伊比孝

議 題

1 会議録署名委員の指名

2 教育長専決処理報告

（1）令和5（2023）年度一般会計補正予算（第6号）について

（2）令和5（2023）年度一般会計補正予算（第7号）について

3 審議事項

（1）柏崎市立教育センター運営委員会委員の解嘱及び委嘱について

4 報告事項

（1）教科書展示会の開催について

（2）柏崎市成人式「二十歳のつどい2023」の開催状況について

（3）スポーツレクリエーショングランプリ「ふらば～るバレーボール、ボッチャ大会」を開催しました

（4）小学生サッカースクールがスタートしました

- (5) 第23回柏崎潮風マラソンを開催しました
- (6) 市民ハイキング登山（八石山）を開催しました
- (7) サッカーアルビレックス新潟戦で市町村イベント（柏崎市デー）を開催しました
- (8) 共催・後援の事業について
- (9) 野外おんがく堂2023の終了について

5 その他

- (1) 6月定例会の日程について
- (2) その他

< 午前9時30分 開会 >

(近藤教育長)

報告事項に（9）野外おんがく堂2023の終了についてを追加してよろしいか。

(全委員)

異議なく承認。

第1 会議録署名委員の指名

(近藤教育長)

会議録署名委員に、米谷委員、飯塚委員を指名する。

第2 教育長専決処理報告

(近藤教育長)

教育長専決処理報告に入る。

- (1) 令和5（2023）年度一般会計補正予算（第6号）についてを議題とする。

(教育総務課長)

小・中学校の教育総務課雑入について、今年度から物価高騰を受け、給食費を昨年度と比較し、1食当たり30円を値上げした。今までは、1食当たりにかかる費用全額を保護者から負担してもらっていたが、令和5年度当初は、1食当たり10円を市が負担することとしていた。この度、地方創生臨時交付金の活用が可能になったことから、さらに市が10円を負担し、実質的に保護者から負担していただく額を1食当たり10円とするものであり、今回の補正予算は、この交付金を受けるためのものである。

令和5年度の給食費は、小学校は1食あたり310円だったが、これにより保護者の負担が290円になる。また、中学校は1食あたり360円だったが、保護者の負担が340円になる。

(近藤教育長)

質問、意見を求める。

(近藤教育長)

なければ承認してよろしいか。

(全委員)

異議なく承認。

(2) 令和5(2023)年度一般会計補正予算(第7号)についてを議題とする。

(教育総務課長)

教育総務費寄附金について、市内の山田工業(株)様から、子ども達の歴史探求心向上のためにとの理由で100万円の寄附の申し出があった。

山田工業(株)様は、西山町の旧内藤久寛邸を所有されている。先般、改築工事が終わり、お披露目会に教育長が出席し、そのときに寄附の申し出があった。

(学校教育課長)

歳出のかしわざき子ども育成基金積立金について、子どもたちの歴史探求心向上のための寄附金があり、その活用事業を複数年にわたり実施するために基金として積み立てを行うものである。

歳出のかしわざき子ども育成基金繰入金は、100万円のうち20万円を子どもたちの文化財めぐりを新たに実施するため、基金から繰り入れるものである。

英語教育推進事業は、外国語指導助手1名が7月末で退職を予定していたが、8月以降も本人の希望により引き続き任用することになったため、新しく採用する非常勤職員の報酬や共済費、自治体国際化協会負担金が不要になったため減額をするものである。

科学技術教育事業は、新たに任用した研究助手Bの通勤距離が、当初予算編成時の見込みより長くなったため増額するものである。

教職員研修事業は、新たに任用する教育研究班指導員の期末手当を当初予算編成時は市職員として新規採用の金額を見込んでいたが、理科から教育センターに異動したため、非常勤職員期末手当及び共済費に増額が生じたためである。

学校保健推進費は、新規任用の産休育休代替職員の通勤距離が、当初予算編成時の見込みより長くなったため、非常勤職員費用弁償を増額するものである。

(文化・生涯学習課長)

文化会館管理運営費は、1月25日に発生した文化会館アルフォーレ2階に設置している空気調和機の冷水コイルが破損したため、コイル内部の水が階下まで漏れ出した。これにより、楽屋の天井と床が被害を受けた。そのため、破損した空気調和機及び被害のあった天井等の修繕に係る費用1,250万4千円を措置したいものである。

(スポーツ振興課長)

正規職員が7月1日から産休に入るため、7月1日から翌年3月31日まで非常勤職員を雇用したい。このため、歳入は雇用保険料を、歳出は報酬等を補正要求したいものである。

(水球のまち推進室長)

7月に福岡で行われる世界水泳大会に参加するセルビア共和国とモンテネグロが柏崎市に事前合宿に来るが、合宿の日数や人数が増えたため増額要求するものである。

(博物館長)

博物館管理運営費92万4千円は、博物館地下の燻蒸室にあるライフファンと言われる送風機2台が故障したため、送風機を修繕する経費である。

続いて、子どもたちの歴史探求心向上のための事業を実施するため26万円を計上した。これは、先程、教育総務課と学校教育課から説明があった山田工業(株)様から4月1日にご寄附いただいた100万円の一部を使わせていただくものである。子どもたちの歴史探求心向上のため、文化財めぐりを新たに実施したいと考えている。

(近藤教育長)

質問、意見を求める。

(米谷委員)

英語教育推進事業について、ALTが入ってから15年以上が経過しているが、英語教育の効果がどのくらい上がっているか。

(学校教育課長)

私たちの年代の英語の学び方は、単語をひたすら覚えたり、筆記が中心であったが、現在の外国語活動として求められている英語は変わってきている。今は、コミュニケーション能力としてのスピーキングや聞き取りの部分が大きくなってきている。そのようなところでALTの活用は非常に大切である。

実際、小学校高学年や中学校で授業をしているが、ALTと英語を使った会話のやり取りでは、決まった文言からスタートするが、その過程で、どのようなシチュエーションで、どう思い、それを英語でどう伝えるかを考えながらALTとやり取りをしている。子ども達のコミュニケーション能力の向上には効果があると考えている。

(米谷委員)

子ども達の将来に非常に役立つと思うので、工夫をして体験を取り入れていただきたい。

(飯塚委員)

博物館の歳出について、金額はどのように算出しているか。

(博物館長)

複数の事業者から見積書を取り寄せて、平均的な金額を計上している。

(近藤教育長)

他になければ承認してよろしいか。

(全委員)

異議なく承認。

第3 審議事項

(近藤教育長)

審議事項に入る。

(近藤教育長)

(1) 柏崎市立教育センター運営委員会委員の解嘱及び委嘱についてを議題とする。

(教育センター所長)

委員の一部に異動があったため、令和5年(2023年)5月31日付で当該委員を解嘱し、残任期間について新たに委員を委嘱するものである。残任期間については、任期が6月1日から令和6年5月31日までとなっている。5名を解職し、5名を委嘱したい。

(近藤教育長)

質問、意見を求める。

(近藤教育長)

なければ承認してよろしいか。

(全委員)

異議なく承認。

第4 報告事項

(近藤教育長)

報告事項に入る。

※教育長及び各課（館）長が資料に沿って説明

- (1) 教科書展示会の開催について
- (2) 柏崎市成人式「二十歳のつどい2023」の開催状況について
- (3) スポーツレクリエーショングランプリ「ふらば～るバレーボール、ボッチャ大会」を開催しました
- (4) 小学生サッカースクールがスタートしました
- (5) 第23回柏崎潮風マラソンを開催しました
- (6) 市民ハイキング登山（八石山）を開催しました
- (7) サッカーアルビレックス新潟戦で市町村イベント（柏崎市デー）を開催しました
- (8) 共催・後援の事業について
- (9) 野外おんがく堂2023の終了について

(近藤教育長)

以上で報告事項を終わる。

第5 その他

- (1) 6月定例会の日程について 6月27日（火）午後1時30分開会
- (2) その他

(梅田委員)

コロナが5類に引き下げられたことで、学校生活も変わってきたと思うが、小・中学校におけるマスクの着用状況と、家族が感染した場合の対応を教育委員会から学校へどのように指導をしているか聞きたい。

(学校教育課長)

マスクの着用について子ども達への指導は、5月8日から学校内においても個人の判断に変わった。5月8日は、ほとんどの児童生徒がマスクを着用していた。また、教員も授業で話することから着用していた教員が多くおり、場面によって外すなどの対応でスタートした。5月下旬には、各小学校で運動会が開催され、熱中症対策として基本的には外すことで運動会を行った。ほとんどの子ども達が外したが、建物内に入ると着ける児童もいると聞いている。

また、濃厚接触者の特定がなくなったことから、例えば家族に陽性者が出た場合、症状がなければ学校に登校しても良いということに変わった。周りのことを考えると、マスクを着用してもらうことが望ましいとは思いますが、着用するようには指導していない。なお、家族が陽性になったら学校に連絡が来ているので、学校では健康観察を行っている。

(飯塚委員)

2週間ほど前に学校の先生に会ったとき、学校におけるマスクの着用率を聞いたら、ほとんどの子ども達がマスクをしていると言われた。そのとき、上司がしているから私たちも外

しにくいと言われた。今の世の中の状況から、校長等にマスクを外すことを促すことにより、子ども達にとってマスクを着けない自由ができるのではないか。

(教育長)

貴重な情報をいただき感謝申し上げます。校長自ら外していくよう呼び掛けていきたい。

< 午前10時19分 閉会 >

以上、相違ないことを確認する。

令和5年（2023年）6月27日

教育長 近藤喜祐

委員 米谷杉子

委員 飯塚政雄